



2022年12月16日

各位

会社名 PCIホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 横山 邦男  
 (コード番号: 3918 東証プライム)  
 問合せ先 取締役経営企画本部長 井口 直裕  
 (TEL. 03-6858-0530)

### 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社の2022年9月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっております。流通株式時価総額については基準に適合していません。

当社は、2021年12月14日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を公表しており、2022年9月末日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

2023年9月期末日までに上場維持基準に適合するために、引き続き各種取組みを進めてまいります。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
当社の 適合状況 及び推移 ※1	2021年6月30日 (移行基準日時点)	3,760	68,464	93.0	80.3	1.10
	2022年9月30日 (基準日時点)	4,816	75,880	72.6 ※2	73.5	0.48 ※3
プライム市場上場維持基準		800	20,000	100.0	35.0	0.20
適合状況及び 当社の計画に記載した計画期間		適合	適合	2023年9月末	適合	適合

※1 東京証券取引所が各基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

※2 流通株式時価総額は、流通株式数に日々の株価最終価格の平均値を乗じて算出しており、当事業年度の末日以前3ヵ月間(2022年7月1日～2022年9月30日)の日々の最終価格の平均値は956.56円であります。

※3 2022年9月30日時点の1日平均売買代金の金額は、当社で試算を行ったものであり、2021年10月1日から2022年9月30日までの東京証券取引所での売買代金を営業日数で除した金額であります。

#### 2. 当社の上場維持基準への適合に向けた取組みの実施状況及び評価

プライム市場上場維持基準の充足に向けた取組みの実施状況及び評価並びに今後の課題・取組内容については、添付の『プライム市場上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について』に記載のとおりであります。

以上

# プライム市場上場維持基準の適合 に向けた計画に基づく進捗状況について

2022年12月16日

PCIホールディングス株式会社  
(証券コード : 3918)



I . 上場維持基準への適合状況の推移と計画期間	…	2
II . 上場維持基準の適合に向けた取組みの進捗状況と評価	…	3
II - 1 . 流通株式時価総額基準適合のための計画と進捗サマリー	…	3
II - 2 . 進捗状況と評価	…	4
II - 2 - 1 . 中期経営計画の確実な達成	…	4
II - 2 - 2 . ESG経営／サステナビリティへの取組み	…	11
II - 2 - 3 . IR活動の強化	…	15
II - 2 - 4 . 株主還元の充実	…	16
III . 流通株式時価総額の推計	…	17

## I. 上場維持基準への適合状況の推移と計画期間



### 【上場維持基準の適合状況の推移】

当社は、**「流通株式時価総額」**について基準を充たしておりません。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	平均売買 代金
当社の 適合状況 及び 推移	2021年 6月30日時点	3,760人	68,464単位	93.0億円	80.3%	1.10億円
	<b>2022年 9月30日時点</b>	<b>4,816人</b>	<b>75,880単位</b>	<b>72.6億円</b>	<b>73.5%</b>	<b>0.48億円</b>
上場維持基準		800人	20,000単位	100.0億円	35.0%	0.20億円
適合状況		適合	適合	不適合	適合	適合

※当社の適合状況は、東京証券取引所が各基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

※2022年9月30日時点の流通株式時価総額算出に用いた株価は、956.56円です。

※2022年9月30日時点の平均売買代金は、2021年10月1日～2022年9月30日までの東京証券取引所での売買代金を営業日数で除した金額です。

### 【計画期間】

上場維持基準（流通株式時価総額基準）を充足するための計画期間を中期経営計画「PCI-VISION2023」の最終事業年度となる**「2023年9月期末」**までといたします。（当初計画から変更なし）

## Ⅱ. 上場維持基準の適合に向けた取組みの進捗状況と評価

### Ⅱ-1. 流通株式時価総額基準適合のための計画と進捗サマリー

2021年12月14日に公表した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載した取組み内容と進捗状況の概要は以下のとおりです。

取組み内容	進捗状況（サマリー）
①中期経営計画の確実な達成	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2022年9月期 売上高・営業利益 過去最高</li><li>・ 2023年9月期 中計最終年度計画 変更なし</li><li>・ 重点取組事項 5 項目への取組み実施</li></ul>
②ESG経営/ サステナビリティへの取組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コーポレート・ガバナンス体制強化</li><li>・ サステナビリティ委員会の設置（2022年7月）</li><li>・ TCFD提言への賛同表明（2022年11月）</li></ul>
③IR活動の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 投資家意見の社内（取締役会・執行役員会）共有</li><li>・ 会社資料の英文開示</li><li>・ 2023年9月期中に統合報告書発刊予定</li></ul>
④株主還元の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目標指標に従った「連結配当性向」 及び「連結純資産配当率」の実現（増配予想）</li><li>・ 自社株買いを含む機動的な資本政策の検討</li></ul>

## Ⅱ. 上場維持基準の適合に向けた取組みの進捗状況と評価



### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-1. 中期経営計画の確実な達成 (業績・計数の推移)

(単位：百万円)

	2020年9月期 (実績)	2021年9月期 (実績)	2022年9月期 (計画)	2022年9月期 (実績)	2023年9月期 (計画)
売上高	16,758	21,249	26,500	25,170	30,000
営業利益	750	1,174	1,400	1,445	1,800
営業利益率	4.5%	5.5%	5.3%	5.7%	6.0%
EBITDA	967	1,485	1,780	1,835	2,150
ROE	5.8%	10.7%	10%以上	8.5%	12%以上

#### ※2022年9月期：

売上高（前期比：18.5%増、計画比：5.0%減）：主に部材調達難の影響を受け、計画比減

営業利益（前期比：23.0%増、計画比：3.2%増）

ROE（前期比：2.2ポイント減）：投資有価証券評価損の計上（300百万円）により当期利益が減少

#### ※2023年9月期：

現中期経営計画「PCI-VISON2023」の最終事業年度の業績計画から変更なし

売上高・各段階利益で過去最高となる計画

## Ⅱ. 上場維持基準の適合に向けた取組みの進捗状況と評価



### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-1. 中期経営計画の確実な達成

(重点取組事項：5項目)

##### ① システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上

- ・得意領域（業界・業種／技術）への更なる傾注
- ・アカウントマネジメント強化

進捗状況評価：○

##### ② 最適な自社ブランド製品／ソリューション／サービスの創出

- ・先端技術の探求から有益なソリューションの創出
- ・企画段階から最終製品までのOne-Stopソリューション

進捗状況評価：○

##### ③ サイバーセキュリティ関連事業の推進

- ・産業用機器向け「AppGuard®」の拡販
- ・セキュリティソリューションラインナップ充実

進捗状況評価：△

##### ④ 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM&Aの推進

- ・業務提携先との連携強化
- ・積極的なM&Aの推進

進捗状況評価：○

##### ⑤ 組織体制の強化及び働き方改革の推進

- ・人材採用／教育の強化
- ・グループ企業それぞれの特徴に応じた働き方改革の推進

進捗状況評価：○

### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-1. 中期経営計画の確実な達成

##### ① システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上

###### ■ 重点分野への傾注

：自動車関連の拡大

ADAS（先進運転支援）／AD（自動運転）／AUTOSAR（自動車制御SW標準化）

エンベデッドソフトウェア開発全体（2021年9月期⇒2022年9月期）

⇒売上高 2.6%増／売上総利益 8.9%増／利益率 1.4%改善

###### ■ アカウントマネジメント強化（2021年9月期⇒2022年9月期）

⇒販売先上位50社 売上高 10%増

###### ■ TOPICS

⇒スマートシティ事業への技術参入開始

### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-1. 中期経営計画の確実な達成

#### ② 最適な自社ブランド製品／ソリューション／サービスの創出

##### ■ 研究開発実績から商用化

： AI・画像認識技術／ハードウェア関連ノウハウ

⇒ **後方接近車両検知ソリューション** ： ・ 特許取得  
・ 連結子会社 PCIソリューションズ(株)と(株)ソードの協業によるOne-Stopソリューションの実現

⇒ **太陽光発電所保安ソリューション** ： ・ 太陽光発電所の施設点検業務効率化  
・ ドローン+AI

⇒ **顧客動線監視ソリューション** ： ・ ハードウェア規格対応  
（温度、静電気、電波対策等）  
・ ハードウェアに関するノウハウの活用

■ 新サービス：SMS（ショートメッセージサービス）配信サービス

： 最大660文字/国内キャリアと直接接続/低価格提供を実現

⇒ 「**FourS Message**」（サービス名称）リリース

### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-1. 中期経営計画の確実な達成

#### ② 最適な自社ブランド製品／ソリューション／サービスの創出

##### ■ その他

： AWS 50 APN Certification Distinction 認定取得

(AWS認定資格取得数が50に達したことにより、AWSより上記認定を取得)

： Amazon Connect サービスデリバリープログラム 認定取得

(特定のAWSのサービスに関して深い技術的知識、経験、実績を有するパートナーとして認定を取得)

⇒ Amazon Connect+ 「CRM連携・オートダイヤル開発・リアルタイムテキスト化」

自社追加開発ソリューション

##### ■ 研究開発の取組み

[AI・画像認識技術]

- ・ AI良品・不良品解析 / ・ 物質重量推論
- ・ 植物成長モニタリング

[通信技術・モビリティ]

- ・ V2X (Vehicle to Everything)

[IoT 他]

- ・ 金型プレス機 故障予知
- ・ BLEセンサーモジュール / ・ LSI劣化検知

連結売上高対研究開発費  
1.5%  
を目安に研究開発投資を実行

### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-1. 中期経営計画の確実な達成

#### ③サイバーセキュリティ関連事業の推進

##### ■産業用機器向け「AppGuard®」

⇒ 既存ユーザー 新機種への搭載（リピートオーダー）

⇒ 新規大型案件受注：苦戦

##### ■ラインナップ充実

⇒ ネットワークセキュリティ監視 取扱い開始

#### ④業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM&Aの推進

##### ■レスターホールディングス(株)（証券コード：3156）との協業

⇒ 2022年9月期 売上 前期比23%増 ※AI関連が増加

##### ■(株)ORENDA WORLD（2022年12月 業務提携）

⇒ 画像認識、自動運転、センサー技術、ロボティクス関連共同開発

### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-1. 中期経営計画の確実な達成

##### ⑤ 組織体制の強化及び働き方改革の推進

###### ■ 教育・研修予算

2023年9月期計画：前期比倍増

**連結営業利益計画の3～5%を目安に人的資本への投資を実施**

- ・ 技術教育（先端技術習得・各種プラットフォームトレーニング）
- ・ グループ企業合同研修（階層別研修・女性幹部研修・営業研修 等々）
- ・ 次世代経営幹部社員育成 etc.

###### ■ 業務効率化ツール採用

- ・ 顧客接点デジタル化ツール ⇒ グループ会社間営業効率向上
- ・ 経費精算業務効率化ツール

## Ⅱ. 上場維持基準の適合に向けた取組みの進捗状況と評価



### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-2. ESG経営／サステナビリティへの取組み

##### ■コーポレート・ガバナンス体制の強化

(プライム市場向け原則の対応状況：全項目コンプライ)

原則	コード (概要)	当社の対応
1-2④	機関投資家向けに議決権行使電子プラットフォームを利用可能とすべき	○2021年12月定時株主総会より、議決権行使電子プラットフォームの利用を可能としております
3-1②	開示書類のうち必要とされる情報について、英語での開示・提供を行うべき	○決算短信、決算説明資料等の英文開示を行っております。
3-1③	TCFD又は同等の枠組みに基づく開示の質と量の充実を進めるべき	○TCFD提言への賛同を表明し、気候変動に係る情報開示を開始(2022年11月)
4-8	取締役会において独立社外取締役3分の1以上を選任すべき	○独立社外取締役を50%としております* (取締役10名中、5名が独立社外取締役)
4-10①	指名委員会・報酬委員会の独立社外取締役過半数を基本とし、独立性に関する考え方・権限・役割等を明らかにすべき	○指名・報酬委員会を設置しております* (取締役5名、内独立社外取締役3名)

(取締役構成) \* 独立社外取締役：5名 社外取締役比率：50%  
 女性取締役：2名 女性取締役比率：20%  
 年齢構成：70歳代 2名／60歳代 3名／50歳代 3名／40歳代 2名

\*2022年12月21日開催予定の定時株主総会において議案の通り承認された場合の状況を記載しております

## II. 上場維持基準の適合に向けた取組みの進捗状況と評価

### II-2. 進捗状況と評価

#### II-2-2. ESG経営／サステナビリティへの取組み

##### ■コーポレート・ガバナンス体制の強化

(取締役及び執行役員スキル・マトリックス)

	役職	企業経営	事業戦略	IT デジタル	新規事業 M&A	グループ 管理	財務/会計 税務	ガバナンス コンプラ
天野豊美	代表取締役会長	○		○	○			
横山邦男	代表取締役社長	○	○		○			
堀部保弘	常務取締役	○	○	○				
井口直裕	取締役	○			○	○		
杉園和也	取締役					○	○	○
小野種紀	社外・独立	○	○		○			
太平博一	社外・独立・監査等					○	○	○
高原明子	社外・独立・監査等		○		○			○
野村昌弘	社外・独立・監査等				○		○	○
坂栄鷹子	社外・独立・監査等							○
守屋元雅	PCIソリューションズ(株)代表取締役	○	○	○				
須藤裕二	(株)ソード 代表取締役	○	○	○				
岡丈詞	(株)リーふねっと 代表取締役	○	○	○				
山下泰弘	(株)プリバテック 代表取締役	○	○	○				

※2022年12月21日開催予定の定時株主総会において議案の通り承認された場合の状況を記載しております。

※守屋元雅、須藤裕二、岡丈詞、山下泰弘は当社の執行役員であります。

※各取締役及び執行役員が有する専門性や経験のうち主なものの最大3つに「○」印をつけております。

### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-2. ESG経営／サステナビリティへの取組み

##### ■ サステナビリティ委員会の設置／運営

- ・ **2022年7月27日付 代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置**

##### 【役割】

- ：サステナビリティ基本方針策定／重要課題（マテリアリティ）特定
- ：リスク管理（リスク把握・分析・評価・必要な措置の助言）
- ：目標設定・進捗管理／全社教育・浸透活動
- ：サステナビリティ関連情報開示

##### ■ TCFD提言への賛同

- ・ **2022年11月24日付 TCFD提言への賛同を表明**
  - ：気候変動に関するリスク・機会の把握
  - ⇒「ガバナンス・戦略・リスク管理・指標と目標」に係る情報開示実施

\*当社ホームページ（<https://www.pci-h.co.jp/tcfid/index.html>）に上記情報を掲載しております。

## Ⅱ. 上場維持基準の適合に向けた取組みの進捗状況と評価

### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-2. ESG経営／サステナビリティへの取組み

##### ■ 事業活動を通じた具体的な取組み事例（一部）

###### ・ 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」の研究活動支援

：技術者による定期的な講演会（技術の社会実装動向・研究と社会の接点等）の実施／PC寄付等  
⇒ 将来を担う世代の教育・研究活動の充実／学生生活の質向上／理工系人材育成



###### ・ 太陽光発電所のAIによる保安

：AIによる画像解析技術を活用し、ドローンを用いて広大な発電設備の管理運用の自動化を図る  
⇒ 太陽光発電の普及／カーボンニュートラル



###### ・ 後方車両接近検知

：高速道路上での各種作業時に後方から接近する車両をAIで検知し、作業員にアラートを発する  
⇒ 道路整備・事故対応時における安心・安全（追突事故防止）



###### ・ 点字名刺プロジェクト（推進事業所:就労継続支援B型事業所 ココロスキップ）への賛同

：視覚障がいのある方への点字刻印業務の依頼  
⇒ 点字名刺プロジェクトの認知度向上

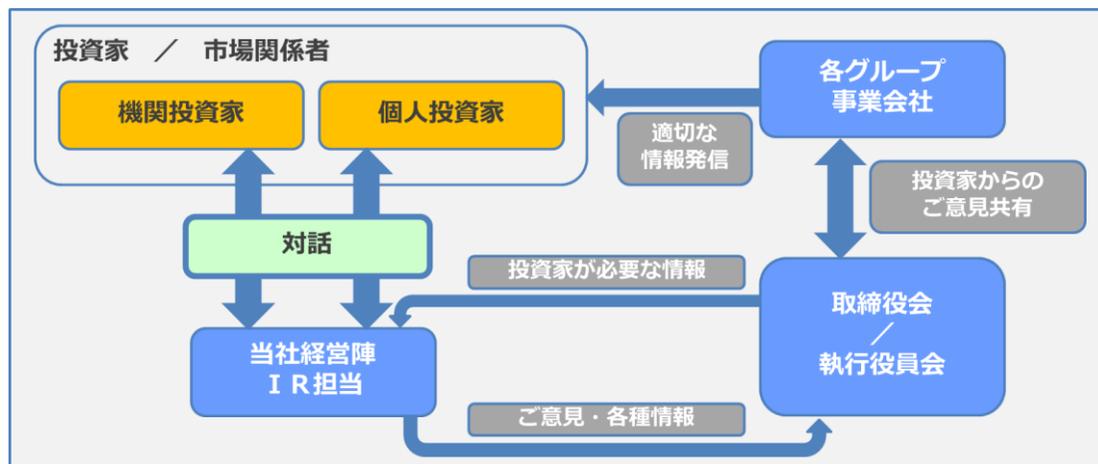


\*詳細は当社ホームページ（<https://www.pci-h.co.jp/sustainability/index.html>）に掲載しております。

### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-3. IR活動の強化

##### ■ 投資家のご意見共有



投資家からのご意見・ご質問を  
当社取締役会及び執行役員会にて共有  
(以下、主なご意見・ご質問)

- ・ IT業界の今後の事業環境をどう見ているか？
- ・ 為替変動／半導体不足（調達難）の影響は？
- ・ セキュリティ事業の状況は？
- ・ 新たに加わった(株)ソードの業績インパクトは？
- ・ 販管費率が高いが販管費に対する考え方は？
- ・ 資本コストの考え方は？
- ・ のれんの減損リスクはないか？
- ・ 今後のM&Aの方針／候補先は？
- ・ 自己株買を含む株主還元方針は？

##### ■ 英文開示

- ・ 2022年9月期：決算短信サマリー情報（四半期毎）／決算説明資料（半期毎）

##### ■ 投資家説明会

- ・ 機関投資家向け説明会：3回
- ・ 機関投資家One-Oneミーティング：随時（四半期毎）・多数
- ・ 個人投資家向け説明会（代表取締役によるメディア出演等含む）：7回

##### ■ 「統合報告書」発刊準備

- ・ 2023年9月期中を目途に発刊予定

## Ⅱ. 上場維持基準の適合に向けた取組みの進捗状況と評価

### Ⅱ-2. 進捗状況と評価

#### Ⅱ-2-4. 株主還元の充実

##### ■ 株主還元の基本方針

- ・ 安定した配当の維持継続 かつ 業績向上とともに配当水準も向上

##### ■ 配当に係る目標指標

- ・ 連結配当性向：30%~50% / 連結純資産配当率：4.0%以上

##### ■ 配当金に関する指標の推移

	2020年9月期 (実績)	2021年9月期 (実績)	2022年9月期 (実績)	2023年9月期 (計画)
1株当たり配当金	31.0円	31.0円	31.0円	33.0円
連結配当性向	89.0%	40.7%	48.5%	31.0%
連結純資産配当率	5.2%	4.6%	4.1%	4.0%

- ・ 2023年9月期：2円増配（中間配当：1円増配、期末配当：1円増配）

##### ■ 今後の資本政策

- ・ 事業投資（研究開発投資／人的資本の強化）と株主還元のバランスを十分に検討
- ・ 機動的な株主還元（自己株式取得を含む）を検討

### Ⅲ. 流通株式時価総額の推計



## ■ PER（株価収益率）による流通株式時価総額の推計（流通株式比率：73.5%として試算）

		当期純利益 (計画値)		想定PER	=	想定時価総額	…	想定流通株式 時価総額
2023年9月期	①	1,070百万円	×	14.5倍	=	15,515百万円	…	11,403百万円
	②	1,070百万円	×	13.9倍	=	14,873百万円	…	10,931百万円
	③	1,070百万円	×	12.8倍	=	13,696百万円	…	10,066百万円

#### ① 当社PER実績

連結会計年度	期末 株価 (円)	期末 EPS (円)	期末 PER	期末 時価総額 (百万円)
2017年9月期	1,625	(実)59.96	27.1倍	12,290
2018年9月期	1,498	(実)56.87	26.1倍	12,753
2019年9月期	1,026	(実)55.47	18.5倍	8,744
2020年9月期	1,216	(実)34.85	34.9倍	10,363
2021年9月期	1,103	(実)76.12	14.5倍	11,386
2022年9月期	925	(実)63.97	<b>14.5倍</b>	9,548
2023年9月期	—	(予)106.34	—	—

#### ② 類似・比較企業のPER状況（出所：当社調べ）

2022年11月時点	PER
類似・比較企業（5社）平均	<b>13.9倍</b>

#### （参考）

2022年9月時点	PER
東証プライム 総合	14.2倍
東証プライム 小型株：③	<b>12.8倍</b>
東証プライム 情報通信	22.1倍

（出所：日本取引所グループ：規模別・業種別PER）

流通株式時価総額	適合水準株価	1,319円
適合基準(円)	流通株式比率	発行済株式数(株)
10,000,000,000	÷ 73.5%	÷ 10,322,400

過去3年間における最大時価総額	14,803百万円
株価（2020年12月25日 終値）	1,737円
発行済株式数（2020年12月25日時点）	8,522,400株

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、  
資料作成時点で入手した情報に基づき弊社で判断した予想であり  
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

## お問い合わせ先

**PCIホールディングス株式会社 経営企画室**  
**E-mail [info@pci-h.co.jp](mailto:info@pci-h.co.jp)**

